名人上手に聴く

野呂栄太郎

青空文庫

もう三、四カ月も前であったと思うが、偶然の機会に、木村八段の将棋講座のラジオ放送を聞いた。飛車落ち定石の説明のようであったが、私の聞いたのはその終わりの五、六分間である。木村八段はそこで、「上手に対して飛車落ち程度でさせるようになると、そろそろ定石を無視して自己流の差し方をするものであるが、それは厳重に慎まねばならぬ。よく人は、こちらがいくら定石通りに差そうと思っても、相手方がそれに応ずるように差してこないから、定石など実践においては役に立たない、というが、これは大きな心得違いだ。飛車落ちの対局だからといって、飛車落ちの定石がそのまま適用されるものではない。お互いに定石を紋切り型に繰り返すだけなら何の変哲もないものになってしまうだろう。上達して名人上手と言われるようになればなるほど、ますます変化を試みるが、それは決して定石を無視して差すのではなくして、定石に基づき、その上で変化を試みるのであって、いわば定石をさらに発展させて新しい定石を生み出すのである。実戦を重ねるに従って定石を始めて活用できるようになるのだ」というような意味のことを言われたと記憶するが、この木村八段のご注意は非常に深い感銘を私に与えた。

それぞれ方面は異なっても、その道の名人上手と言われるほどの人びとの言動には、すべての人の心を打つ、教えられるところの多いものがある。木村義雄八段の注意のごとき、われわれマルクス学徒にとっても、いちいち味わうべき教訓に満ちている。マルクス、レーニンの学

説を勝手に公式化して、それを機械的に現実問題の解決に適用せんとする者の多い反面において、またマルクス、レーニンの学説の公式的適用が実際問題の解決、現実の闘争の指導においてまったく無力であるということから、直ちに理論を軽視し、無視して偏狭素朴なるいわゆる実践主義に陥る者の多いことは、私らのしばしば見るところである。マルクス、レーニンの学説は、いわゆる悉く書を信ずれば書なきに如かずというような不確かな議論とは本質的に異なるが、といってマルクス、レーニンの学説の公式的適用ほどマルクス、レーニンの学説に反したやり方はない。

レーニンも言っているように、理論は灰色であるが、実践は緑色である。もしわれわれにして、理論を理論として、すなわち単なる知識として覚えるにすぎないならば、それはかえってわれわれの行動を束縛する邪魔物とさえなるであろう。しかしながら、革命的理論なくして革命運動はあり得ない。革命的理論によって武装された頭部、マルクス、レーニンの理論によって変革された頭脳の正しい指導によって初めて、大衆運動の自然発生的な革命的高揚性は正しく組織化され、発展せしめられて偉大なる革命を成就することになるのである。

われわれがマルクス、レーニンの学説を研究するのは、マルクス、レーニンの片言隻句を暗記したり、その理論を公式的に鵜呑みにすることではない。いわんやお偉いマルクス学者諸氏やいわゆるマルクス批評家諸公のように物識りになって、マルクス、レーニンの学説を切売りしたり、そのまがい物を密造したりすることではない。われわれにとって必要なことは、まず、

それによってわれわれの頭脳のはたらきを根本的に改造し、事物の観方を徹底的に変革するにある。しかもこのことは、われわれがハッキリと、プロレタリアートの立場に立った時にのみ可能である。なぜなら、プロレタリアートこそは、鎖以外に失う何ものも持たぬところの、従って、現支配体制の崩壊に何らの未練をも感ずることなく最後まで革命的たり得る唯一の階級だからである。階級としてのプロレタリアートの立場こそ、何ものにも捉われず、何ものをも恐れず、あくまで真理の探究に忠実たり得る唯一の科学的立場である。マルクス、レーニンの学説は、実にこの階級としてのプロレタリアートの立場に立ってなされた現支配体制に対する科学的研究と、その革命的実践との所産なのである。だからまたそれは、プロレタリア解放の唯一の指導理論であるとともに、階級闘争の実践に活用されることによって始めてその真価を発揮し、それによってますます偉力を増すところのものである。

来たる三月十四日はちょうどマルクスの五十年祭にあたる。マルクスの理論と、その思想的政治的影響力とはマルクスの死によって亡びることなく、革命的プロレタリアートの成長とともに発展し、拡大した。ことに、マルクスの最も偉大なる弟子レーニンによって指導されたロシアのプロレタリアートは、すでに十五年前において、マルクスの理論の正しさを十月革命によって示した。世界のプロレタリアートは、世界史上始めて自分らの祖国、ソビエト同盟を持つようになり、今日、世界は二つの相対立する体制、すなわちマルクス、レーニンの理論に基づいて社会主義建設に躍進的発展を遂げ、すでに階級としての富農を一掃し、さらに第二次五

カ年計画の完成によって階級対立の物質的基礎を最後的に掘り返してしまわんとしている社会主義体制ソビエト同盟と、恐慌の深刻化と大量馘首の強行とによって労働者農民大衆を餓死に追いやるところの、階級対立闘争を激化して、「新しき政治的危機」の時期に突入しつつある資本主義体制とに分裂している。マルクス、エンゲルスによって有名な『共産党宣言』の書かれた今から八十五年の昔に、西ヨーロッパの資本家、地主たちの夢を脅かした共産党の怪物は、今日では世界のいたるところに横行出没するようになり、どうすることもできないほど、巨きな存在となっている。それほど今日、マルクス、レーニンの理論の勤労大衆の間における政治的、組織的影響力は巨大なものになっている。

労働者、農民の革命的台頭と大衆闘争の中におけるマルクス・レーニン主義の思想的、組織的影響力の増大と同時に、しかしながら、マルクス・レーニン主義の歪曲、俗学化もますます広範に行われ、階級闘争の場面においてはもちろん、真面目なる科学的研究の領域においても恐るべき害毒を流していることを見逃すことができない。マルクス主義の歪曲は、今日ブルジョア学者や社会民主主義特に左翼社会民主主義者によって意識的になされているが、その害毒は、プロレタリアートの戦闘的な指導者、真面目なマルクス学徒にまで相当広くそして深く悪影響を及ぼしている。マルクス・レーニン主義の歪曲、俗学化に対する闘争は、それゆえ、マルクス五十年祭を記念するために、最も重要なそして意義のある事業である。この闘争において必要な第一のことは、マルクス、エンゲルス、レーニン自身によって書かれた今はすでに

歴史的なものとなっている文献に直接親しみ、解説書等で間に合わせをすることなく、たとえ一年に一冊でもよいからそれを再三再四精読し、それによって、ややともすれば歪められがちなわれわれの物の観方を正しくし、鈍らされがちな考え方を鋭くするように絶えず努力することである。碁、将棋を正式にやろうとする者に定石の習得、実戦によるその活用の習練とともに、直接、または古棋譜等を通して間接にでも、名人上手に聞くことが必要なように、われわれマルクス学徒にとっても、マルクス・レーニン主義の一応の理解をもって満足することなく、それを実践に移して（というのは、必ずしもいわゆる実際運動にということだけを意味しない、理論的な研究活動も実践である）活用するとともに、機会あるごとに絶えずマルクス、レーニンに聴くことが必要である。マルクス・レーニン主義の歪曲はその公式的理解に始まり、その公式の乱用にきわまる。実践の忙しさの中にマルクス、レーニンに聴け！　これをマルクス五十年祭を記念する合言葉、特に社会民主主義者どもの歪曲に対する闘争を強化して、マルクス・レーニン主義の正しき普及化をなすためのわれわれマルクス学徒の合言葉としたい。

――『鉄塔』一九三三年三月号――

青空文庫情報

底本：「野呂栄太郎全集　下」新日本出版社
1994（平成6）年12月5日第1刷発行
初出：「鉄塔」
1933（昭和8）年3月号
※初出の伏せ字は、底本では編集部によって復元され、当該の箇所には×が傍記されています。
入力：山田剛
校正：川向直樹
2004年6月27日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

名人上手に聴く

野呂栄太郎

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/